

都道府県別賞一等

私たちの未来の道

徳島県 阿波市立阿波中学校 二学年

高田 真希

皆さんは将来の夢はありますか。自分が進む道を想像したことはありますか。その進む道にある赤信号のようなものを考えたことがありますか。私は、身近に隠れている危険なことを見つけようとせず、明るく楽しい未来ばかりを想像していました。

現代の日本では、病気による死亡原因で最も多いのが“ガン”です。女性は三十歳後半から高くなり、男性では、五十歳代から、ガンにかかる割合が急上昇しているというデータがあります。私は、男性のほうが若いときからガンにかかりやすいと思っていました。しかし、全然違うデータを見て、私も家族も、「いつガンになってもおかしいことじゃない。」

と感じるようになりました。もし、私の親がガンになってしまったら、仕事もできないのにお金がたくさんかかるため、私の生活はとても苦しくなってしまう。もし、私が一人暮らしをしているときにガンになってしまったら、私はどうすることもできずにいると思います。ガンのことについて調べると、私の思い描いていた道に、たくさん赤信号が灯ってしまいました。私が、将来明るく楽しく生きていけるのか、とても心配になりました。

お母さんと話しているときに、たまたまニュースで、ガンのことについて話していました。

するとお母さんは、

「ガン保険に入っていたら、結構心配することが減るんじゃないかな。」

と、言っていました。「ガン保険」を、ただの単語としか覚えていなかったもので、あまりすごいと思っていませんでした。しかし、お母さんとネットで調べてみたところ、いろんなリスクに備えられていて、保険は、私たちの青信号なんだと思いました。ガン保険に入っていない場合、たくさんのお金がかかるため、自分のやりたいことができなくなってしまい、明るく楽しい未来の道が、ガンという赤信号によってストップしてしまう可能性があります。ですが、ガン保険に入っている場合、お金を保障してくれます。そのため、一旦ストップしてしまっても、未来は明るく楽しい青信号の道へと変わっていきます。しかし、医療技術の進歩によって、ガンの生存率があり、”死に至る病気”から”長くつきあう病気”へと変化した現代では、働くのが大変で、『今よりも収入が減った場合はどうするのか。』と、考えて調べてみました。すると、”働けなくなる

第60回中学生作文コンクール

リスク”や”収入が減るリスク”に備えたお金をもらえるものもあることがわかりました。ガンになったときだけでなく、その後も治るまでサポートしてくれるガン保険があることによって、安心の気持ちが広がっていくなと感じました。

作文を通して私が思ったことは、保険は”もしものときに備えるプロ”だということです。ガン保険だけでなく、たくさんの保険によって、私たちの世界は安心して成り立っているんだなと思いました。保険があることによって、心の支えの柱ができ、たくさんの道が現れてくると思います。それと同時に、赤信号の数も増えていくと思います。しかし、日頃からの備えがあれば、もしものことがあっても、夢が実現できるはずです。私たちが大切にしていかなければいけないのは、皆それぞれの夢を簡単に諦めないことです。この心があれば、一度立ち止まっても、夢をかなえることができると思います。どんなことがあっても、強く夢を追いかけられたり、安心して生活を送ることができるよう、保険という一本の柱が支えてくれるのです。明るく楽しい未来の道をつくるために。